IR分析報告書

世田谷プラットフォーム
IR部会

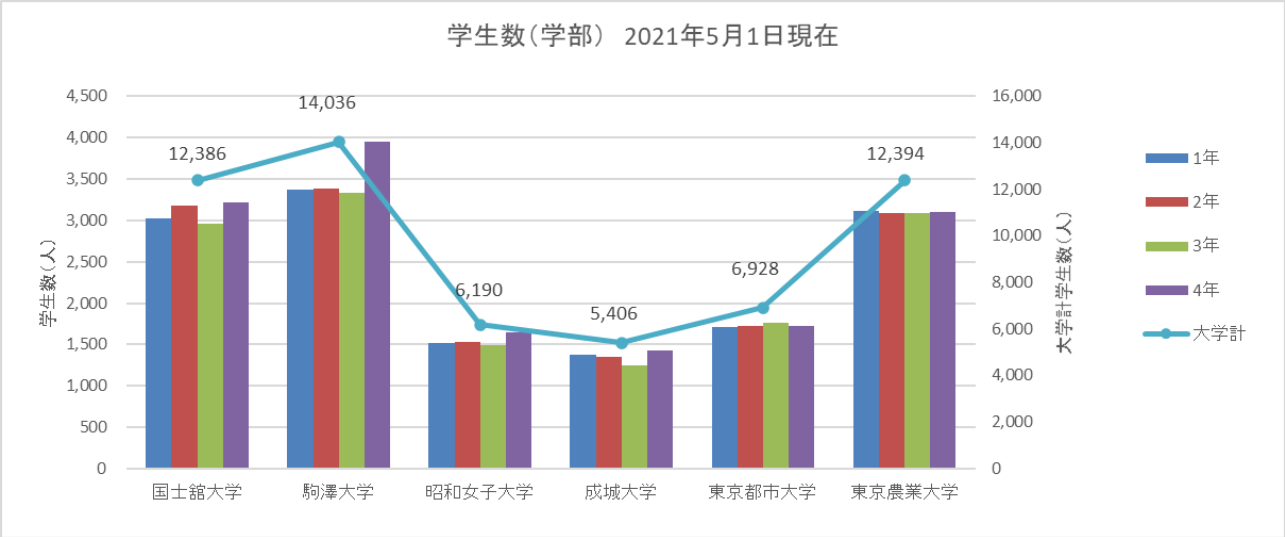
目次

1. 世田谷PF協定大学の学生数（学部生）
2. 世田谷PF協定大学の学生数（大学院生）
3. 世田谷PF協定大学の一般選抜の動向
4. 世田谷PF協定大学の共通テスト/センター試験利用選抜の動向
5. 大学選びに関するアンケート集計結果①
6. 大学選びに関するアンケート集計結果②
7. 大学選びに関するアンケート集計結果③
8. 世田谷区将来人口統計①
9. 世田谷区将来人口統計②

※ 本報告書では、「大学入学共通テスト」を「共通テスト」、「大学入試センター試験」を「センター試験」と略して記載しています。

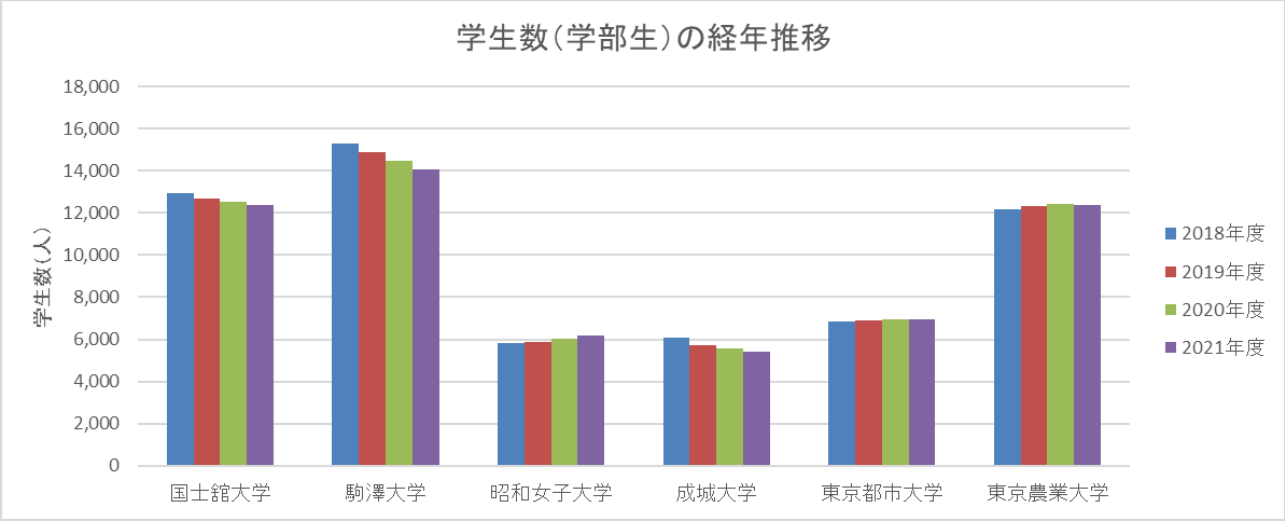
2022年3月29日

1　世田谷プラットフォーム協定大学の学生数（学部生）



	1年	2年	3年	4年	大学計
国士舘大学	3,025	3,176	2,963	3,222	12,386
駒澤大学	3,368	3,383	3,338	3,947	14,036
昭和女子大学	1,524	1,535	1,489	1,642	6,190
成城大学	1,378	1,353	1,248	1,427	5,406
東京都市大学	1,707	1,728	1,769	1,724	6,928
東京農業大学	3,116	3,092	3,089	3,097	12,394
6大学計	14,118	14,267	13,896	15,059	57,340

※学生数は、世田谷区外のキャンパスも含めている

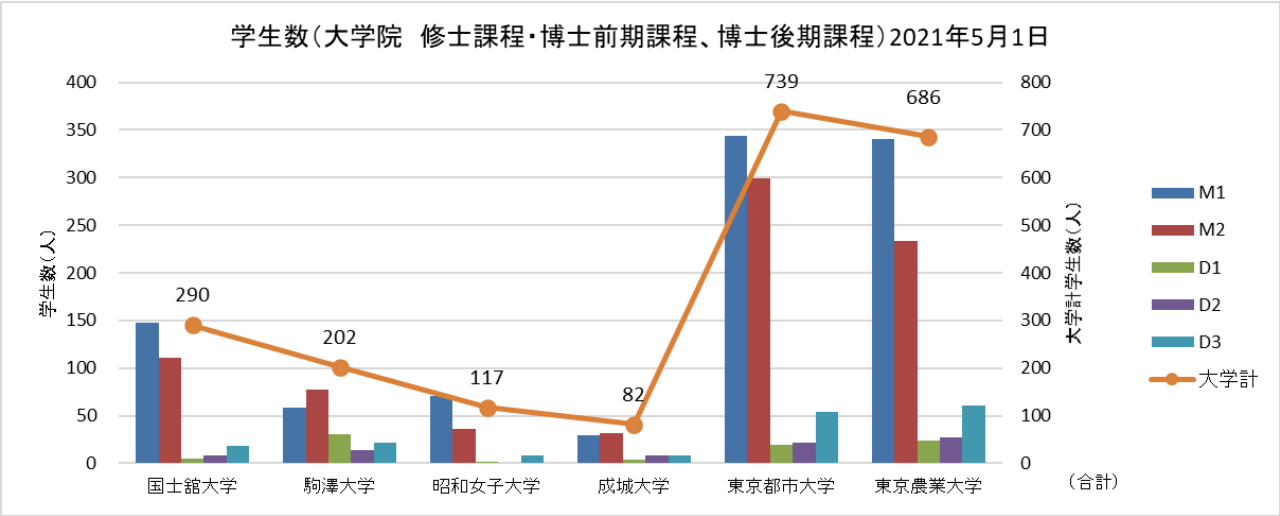


	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	12,920	12,700	12,501	12,386
駒澤大学	15,288	14,882	14,480	14,036
昭和女子大学	5,821	5,895	6,052	6,190
成城大学	6,055	5,698	5,581	5,406
東京都市大学	6,856	6,886	6,932	6,928
東京農業大学	12,181	12,329	12,419	12,394
6大学計	59,121	58,390	57,965	57,340

※学生数は、各年度5月1日現在

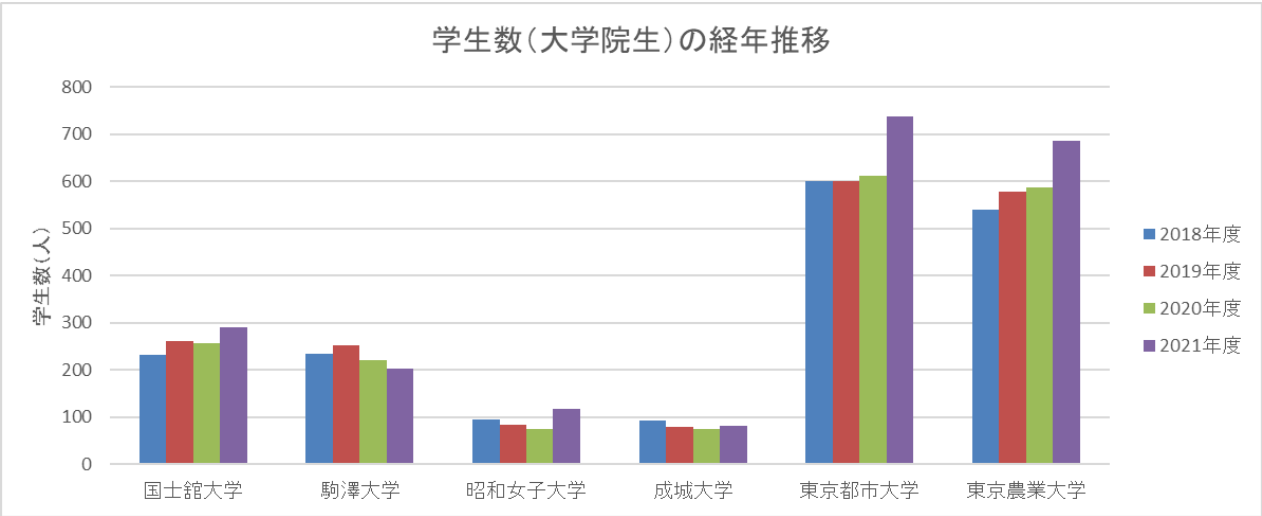
大規模大学を中心に学生数が減少している。この原因として「入学定員の厳格化」の影響が考えられる。

2　世田谷プラットフォーム協定大学の学生数（大学院生）



	M1	M2	D1	D2	D3	大学計
国士舘大学	148	111	5	8	18	290
駒澤大学	58	77	31	14	22	202
昭和女子大学	71	36	2	0	8	117
成城大学	30	32	4	8	8	82
東京都市大学	344	299	20	22	54	739
東京農業大学	341	233	24	27	61	686
6大学計	992	788	86	79	171	2,116

※学生数は、世田谷区外のキャンパスも含めている



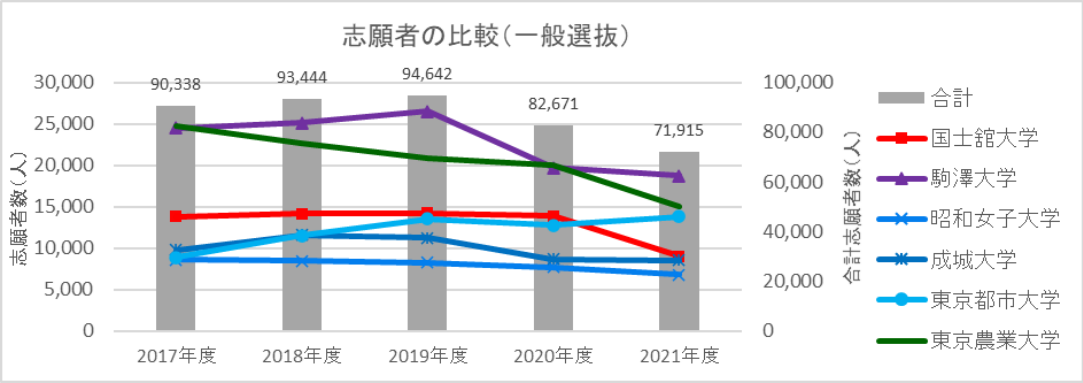
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	231	260	256	290
駒澤大学	233	253	220	202
昭和女子大学	95	83	74	117
成城大学	92	78	75	82
東京都市大学	601	600	611	739
東京農業大学	539	578	587	686
6大学計	1,791	1,852	1,823	2,116

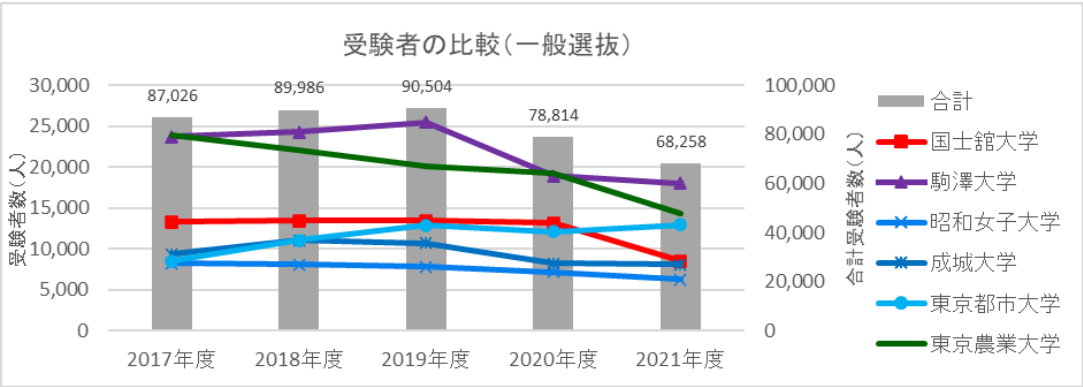
※学生数は、各年度5月1日現在

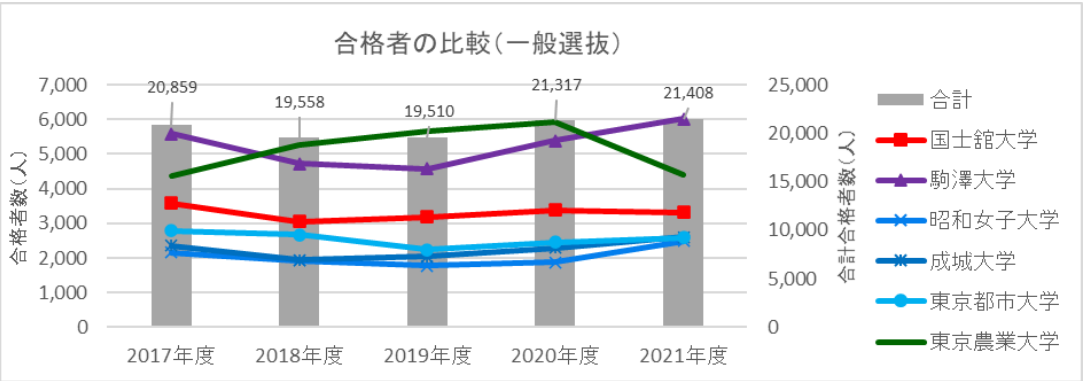
多くの大学で、2021年度に
大学院生数が増えている。

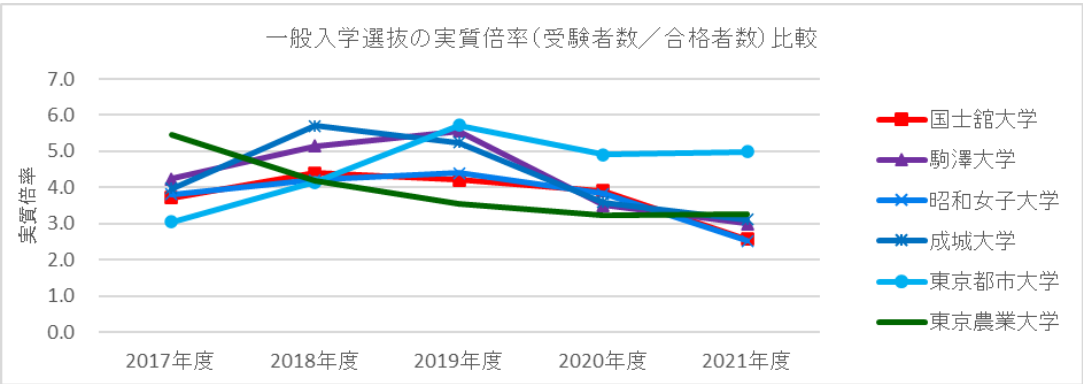
3　世田谷PF協定大学の一般選抜の動向

世田谷ＰＦ協定大学の一般選抜において、志願者数合計は約７万２千人、受験者数合計は約６万８千人と２年間わたりと大幅に減少している。一方で合格者合計は約２万１千人と増加傾向にある。志願者数や受験者数の減少については、入学定員の厳格化の影響や新型コロナウイルス感染症の影響などが考えられえる。また、合格者数の増加は、昨年度と同様に入学定員充足率を調整するため、追加合格者を出した結果と考えられる。



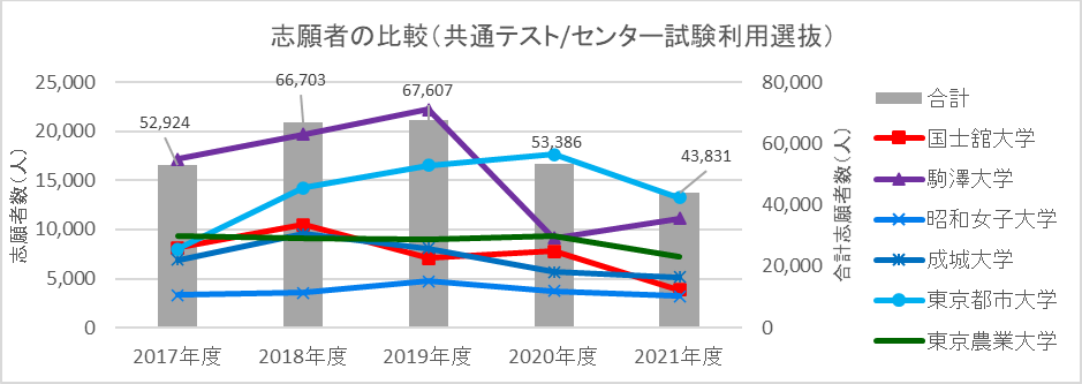


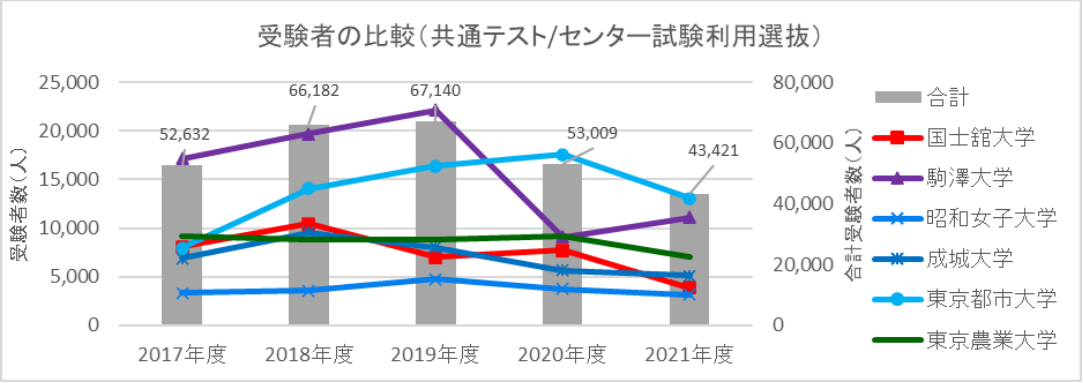


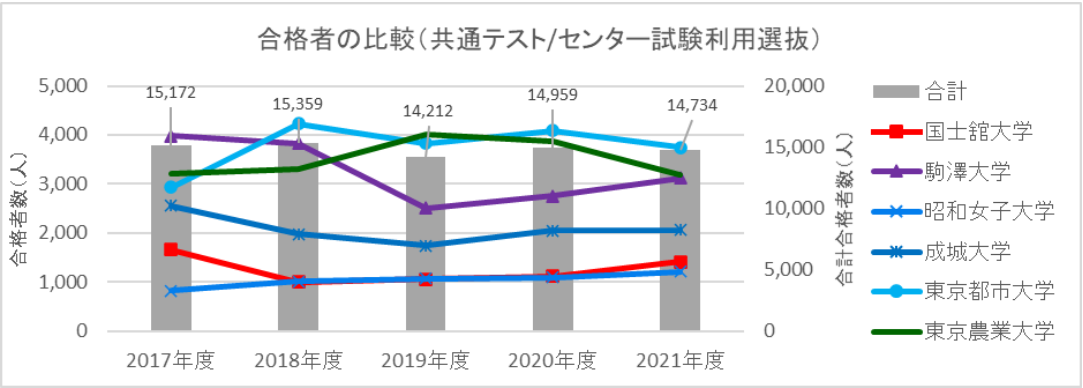


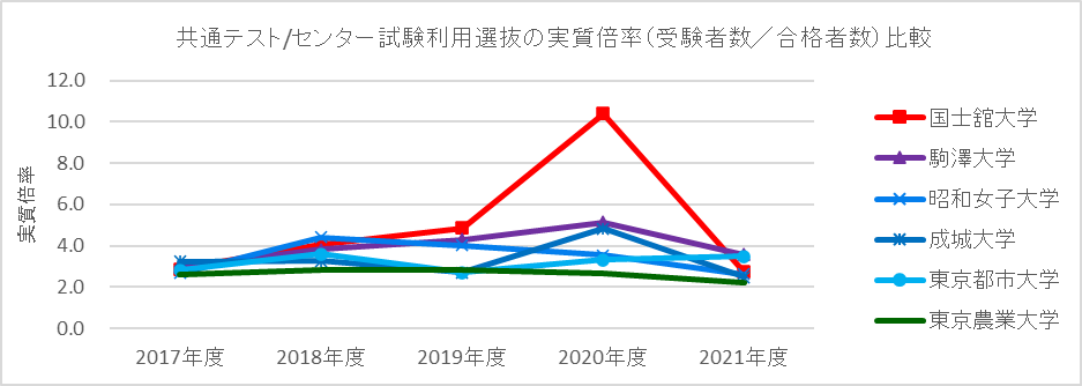
4　世田谷PF協定大学の共通テスト/センター試験利用選抜の動向

世田谷ＰＦ協定大学の共通テスト/センター試験利用選抜において、志願者数合計は約４万４千人、受験者数合計は約４万3千人と前年度と比較すると大幅に減少している。一方で合格者合計は約1万5千人であり、前年度と比較すると同等である。大学入学共通テストは2021年度から実施されたこともあり、受験者が少なかったこともあるが、一般入学選抜と同様に、入学定員の厳格化の影響などが考えられる。









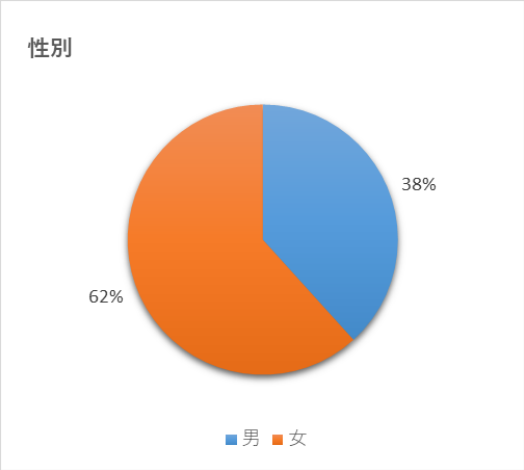
5　大学選びに関するアンケート集計結果①

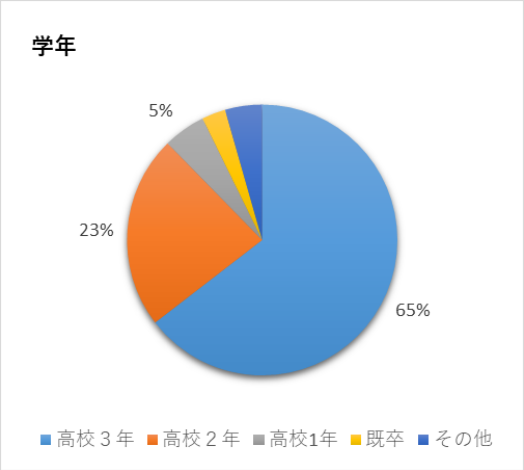
世田谷プラットフォームの入試広報部会が開催した「オンデマンド大学説明会」において、アンケート調査を実施した。

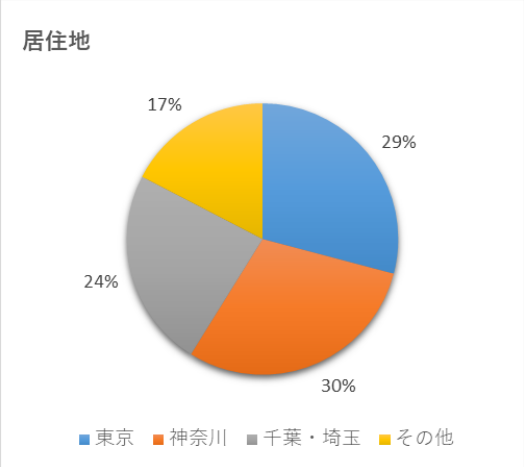
実施日	2021年10月1日（金） ～10月31日 （日）
場所	オンデマンド配信
申込者数	316名
視聴者数	311名

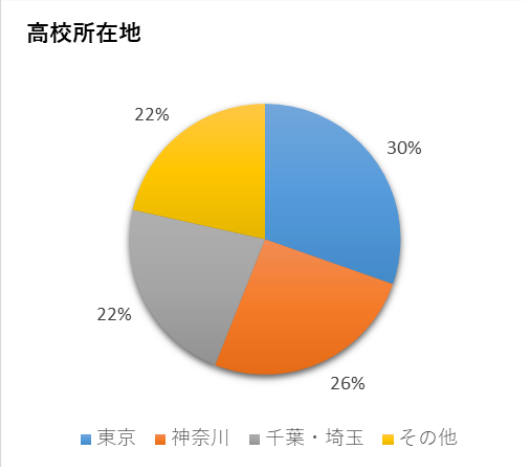
※昨年度との違い
Zoomによるオンライン開催
申込者数は、635名
延べ参加者数は、963名

●お子様のプロフィールを教えてください。





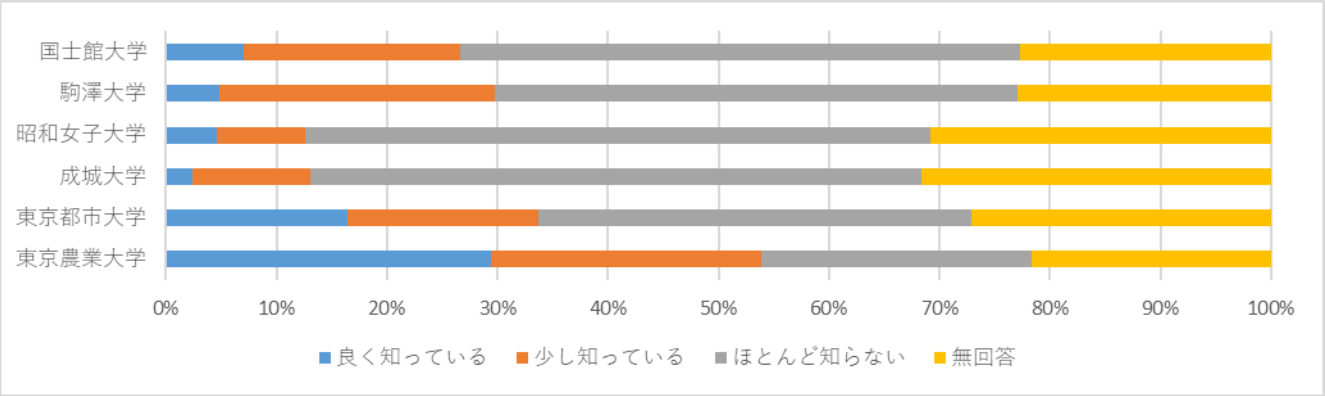




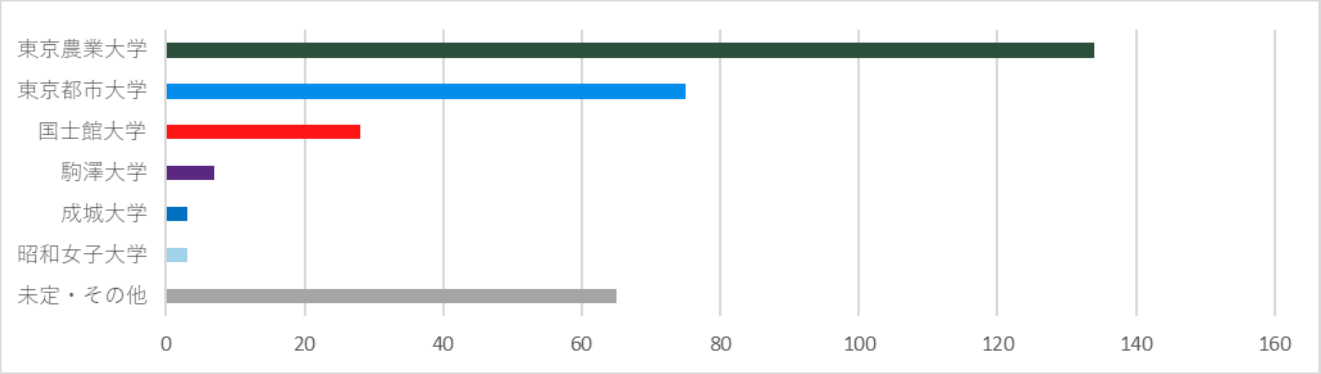
昨年度と比較して、大幅に申込者が減っている。その背景として、昨年度がコロナ禍の影響により各大学の情報提供の機会が少なかったことから、参加者が多かったと考えられる。また、オンデマンド配信であることや招待講演がなかったこと、昨年度とは異なり、各大学においても様々な情報発信が行われていることなども視聴者（昨年度の参加者に相当）が減った要因と考えられる。
居住地や高校所在地は、昨年度と同様、他県からの参加も多く見受けられた。

6　大学選びに関するアンケート集計結果②

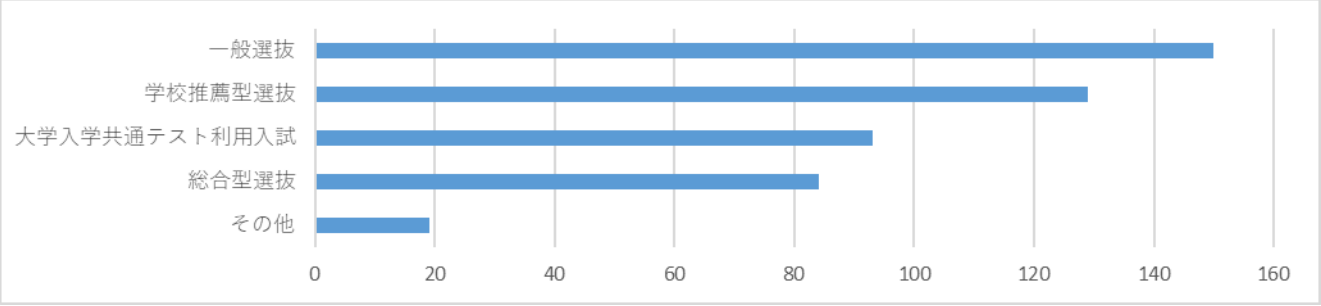
●以下の参加大学（世田谷区内6大学）をご存知ですか。



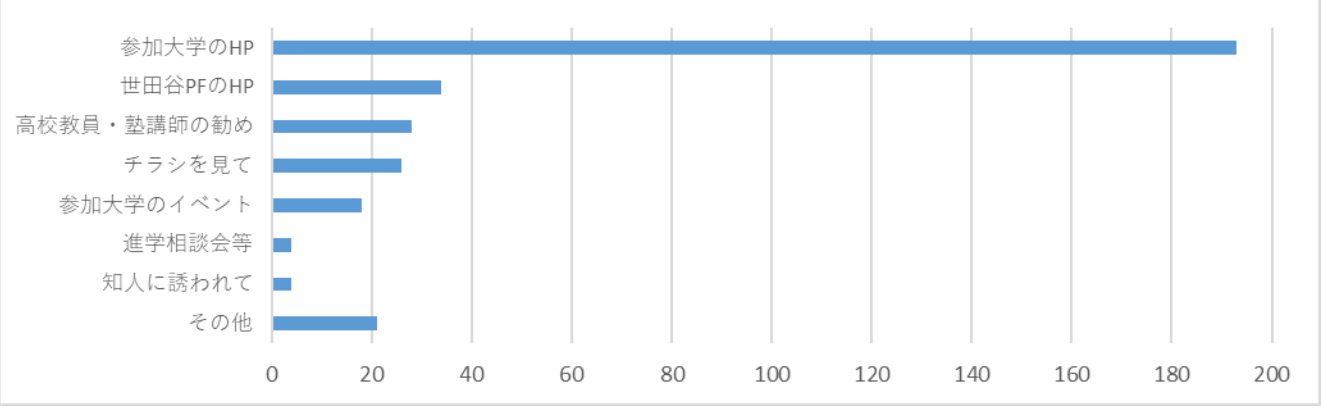
●現在、お子様が第1志望としている大学について教えてください。



●現在、お子様が検討している入試方法を教えてください。（複数選択可）

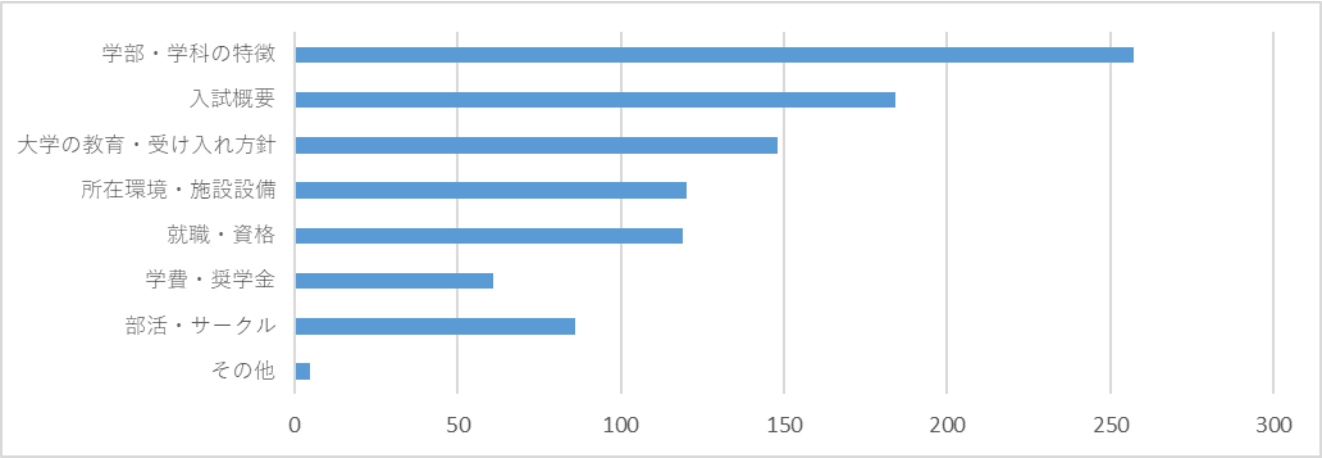


●大学説明会に参加したきっかけは何ですか。（複数選択可）



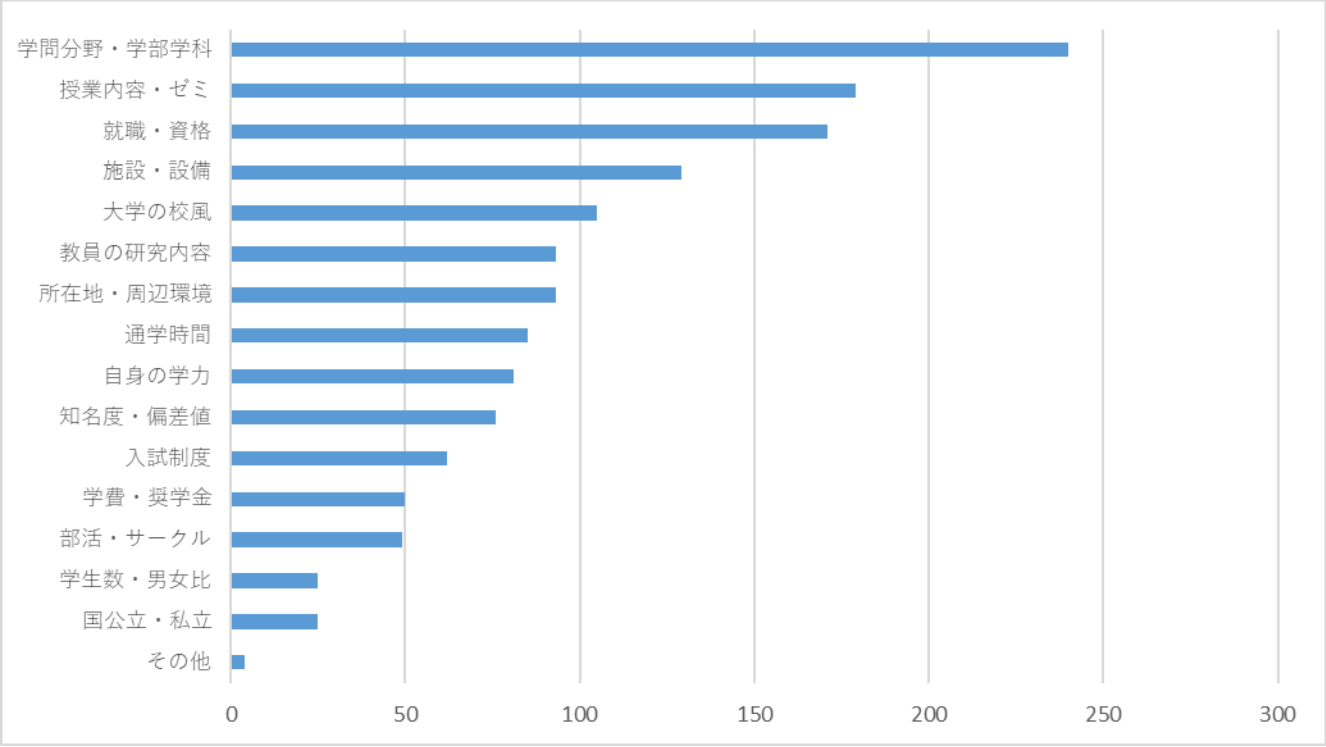
7　大学選びに関するアンケート集計結果③

●大学説明会で知りたかった内容は何ですか。（複数選択可）



- 大学説明会で知りたかった内容は、昨年度と同様、「学部・学科の特徴」、「入試概要」、「大学教育・受け入れ方針」について知りたい方が多かった。

●大学選びで重視したい項目を教えてください。（複数選択可）

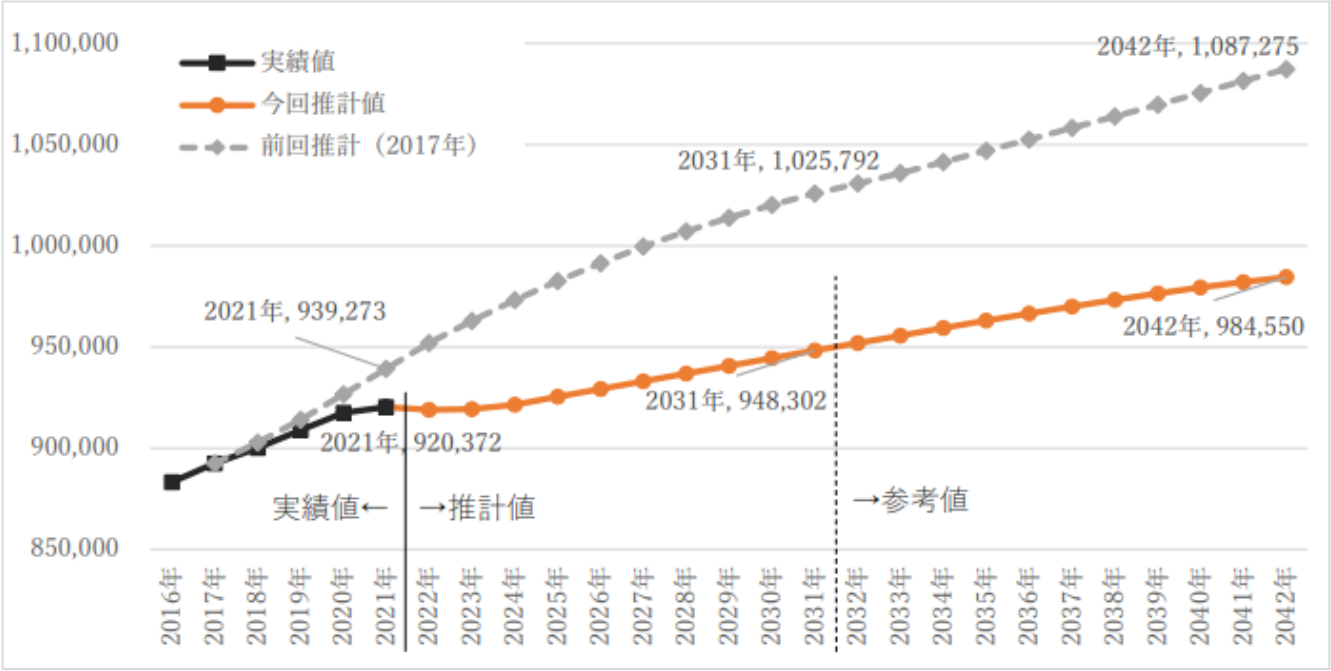


- 大学選びで重視したい項目として、昨年度と同様に 「学問分野・学部学科」、 「授業内容・ゼミ」、 「就職・資格」を挙げる方が多かった。
- また、昨年度よりも「施設・設備」や「教員の研究内容」、「所在地・周辺環境」などを重視する方が増えてきている。

8　世田谷区将来人口統計①

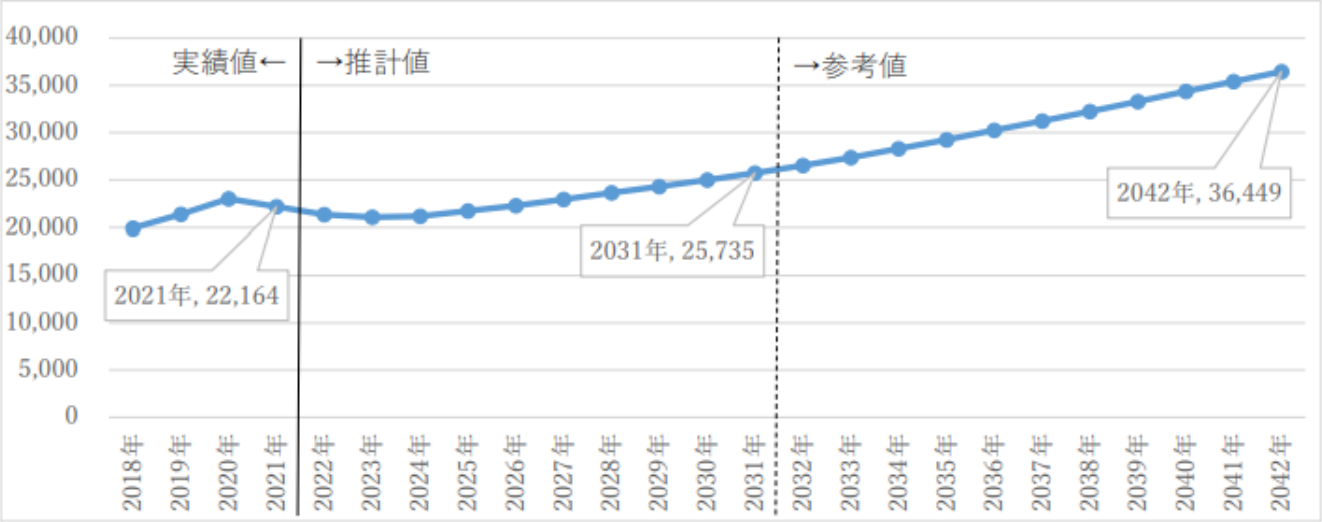
世田谷区政策経営部政策研究・調査課により公表されている「世田谷区将来人口推計（令和3年7月補正）」のデータを基に以下の資料を作成している。

●世田谷区将来人口推計の今回推計値（令和3年7月補正）と前回推計（平成29年7月）



出典：世田谷区将来人口推計（令和3年7月補正）p.13

●外国人人口の推移【参考】



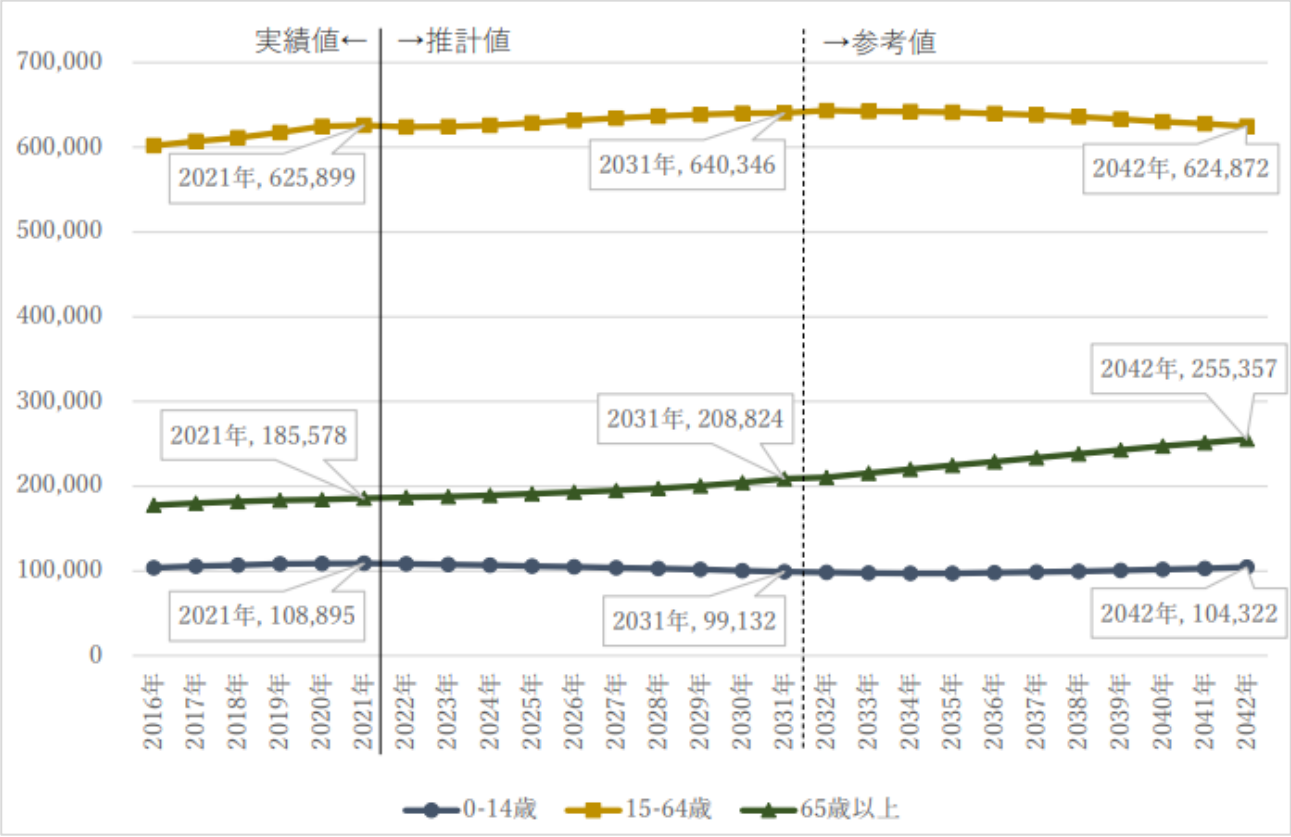
出典：世田谷区将来人口推計（令和3年7月補正）p.17

令和3年7月補正の世田谷区将来人口推計では、前回の推計（平成29年7月）よりも人口の増加が鈍化することが示されている。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大と社会・経済への影響により人口動向が変化したことにより、想定よりも転入者数が減少し、転出者数が増加したことに起因するものである。

外国人人口の推移については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることから、今回の推計では参考として試算されている。2020年以降は減少し、2024年以降から増加することが見込まれているが、今後の状況によっては大きく変化する可能性がある。

9　世田谷区将来人口統計②

●年齢3階層別人口



	実績値	推計値		参考値	
	令和 3 年 (2021 年)	令和 8 年 (2026 年)	令和 13 年 (2031 年)	令和 18 年 (2036 年)	令和 23 年 (2041 年)
年少人口 (0～14 歳)	108,895	104,636	99,132	97,820	102,979
	11.8%	11.3%	10.5%	10.1%	10.5%
生産年齢人口 (15～64 歳)	625,899	631,681	640,346	639,867	627,780
	68.0%	68.0%	67.5%	66.2%	63.9%
高齢者人口 (65 歳以上)	185,578	192,970	208,824	228,892	251,324
	20.2%	20.8%	22.0%	23.7%	25.6%

出典：世田谷区将来人口推計（令和3年7月補正）p.14

年齢3階層別人口の推移を確認すると、年少人口（0～14歳）は緩やかに減少し、高齢者人口（65歳以上）は増加することがわかる。また、生産年齢人口（15～64歳）は、当面は微増傾向で推移しているが、参考値で示されてる2032年以降は、次第に減少傾向に転じていく見込みである。